

「E-ことCSRポイント制度」で初めての寄付実施
～ 社員のCSRの取り組みを金額換算、総額171万円を5団体へ ～

株式会社損害保険ジャパン（以下「損保ジャパン」、社長 佐藤正敏）は、社員のCSRへの新たな取り組みを推進するため、2009年7月に「E-ことCSRポイント制度」を新設しました。このたび、21,686名の損保ジャパン社員が自分自身のCSRへの取り組みをチェックし、その寄与度に応じて獲得したポイントを集計し、金額換算した総額1,717,300円を寄付します。寄付は5つの分野のNPOなどに対して3月末までに実施し、社会の課題解決に取り組む各団体の活動に役立てていただく予定です。

1. 「E-ことCSRポイント制度」の概要

「E-ことCSRポイント制度」は、損保ジャパン社員が「CSRの基本行動」、「職場でのエコ活動」、「社会貢献活動」、「家庭での取り組み」の4つの切り口からなる20項目について、日常の行動を自己チェックし、そのチェック結果をもとに、会社が取り組みに応じたポイントを金額に換算し、NPOなどの団体へ寄付する制度です。

2. 制度への参加者数・寄付金額について

参加者数（2010年1月4日～1月31日）	21,686名
寄付総額	1,717,300円

3. 寄付先について

2009年度の寄付先は5つの分野からそれぞれ選定しました。

【環境】NPO法人日本ウミガメ協議会 【福祉】きょうされん

【国際協力】NPO法人JEN 【美術・文化】エイブルアート・ジャパン

【安心・安全・防災】NPO法人レスキューストックヤード

4. 今後の展開

NKSJグループ※各社への対象範囲の拡大や、ポイントの活用方法の多様化などを今後検討していく予定です。

※本年4月1日に損保ジャパンと日本興亜損保株式会社は共同持株会社NKSJホールディングス株式会社を設立します。

別紙 寄付先団体

【環境】

NPO法人日本ウミガメ協議会



・ウミガメとそれを取り巻く海洋環境保全活動の実施や、一般の方に現状を知ってもらう機会として、産卵や施設の見学、講演会開催、海辺のゴミ拾いなどを実施

【福祉】

きょうされん



小規模作業所をはじめ授産施設やグループホーム、生活施設、生活支援センターなど障がいを持った方たちの暮らしを応援している団体

【国際協力】

NPO法人JEN



紛争や災害により厳しい生活を余儀なくされている人々が、自立した生活を取り戻すための支援を実施。緊急支援／生活インフラ再構築／心のケア／自活支援／ソーシャルサービス支援など

【美術・文化】

エイブルアート・ジャパン



障がいのある人たちが表現活動を通じて、社会に新しい芸術観や価値観を創ることを目的に活動。全国公募展、展覧会、ワークショップ、舞台関連事業、出版事業、視覚障害者との絵画鑑賞など

【安心・安全・防災】

NPO法人レスキューストックヤード



「減災のまちづくり」を目的に、地域防災・災害時の支援プログラムを実施。災害時の緊急支援、復興支援の他、防災リーダーなどの人材育成も実施。